MEIJI SHIPPING GROUP

平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月31日

上 場 会 社 名	明治海運株式会社	上場取引所	東・大
コ ー ド 番 号	9115	URL	http://www.meiji-shipping.com/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	内田　和也
問合せ先責任者	（役職名） 取締役執行役員	（氏名）	水野　敏郎　　(TEL) 03-3792-0811
四半期報告書提出予定日	平成25年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	16,620	6.6	657	△15.0	△475	―	100	―
24年３月期第３四半期	15,587	△3.9	773	△24.1	△1,079	―	△112	―

(注) 包括利益　25年３月期第３四半期　　113百万円(　　－%)　24年３月期第３四半期　△1,555百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	3.05	―
24年３月期第３四半期	△3.39	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	131,485	15,752	4.1
24年３月期	137,365	15,824	4.1

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　　5,438百万円　　24年３月期　　5,603百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	―	―	5 00	5 00
25年３月期	―	―	―		
25年３月期(予想)				5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：有

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.9	800	△32.0	2,700	―	250	△50.7	7 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。
詳細は、添付資料３ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項」（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	36,000,000株	24年３月期	36,000,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	2,930,717株	24年３月期	2,930,717株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	33,069,283株	24年３月期３Ｑ	33,052,762株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間においては、債務問題で緊縮財政を続ける欧州経済、およびその影響で減速する中国等の新興国経済により、世界経済に減速感が広がりました。

しかしながら、欧州中央銀行による政策対応によりユーロ圏は一応の金融安定を取り戻し、欧州経済は弱い回復を見せています。また米国の「財政の崖」問題も民主・共和両党の歩み寄りにより何とか一時的に回避はでき、米国経済も明るさが出てきています。しかしそれぞれが内包する問題は大きく、景気の下振れリスクは依然予断を許さない状況です。

また、わが国経済も、復興需要を背景に回復基調を辿ってきましたが、世界経済の減速・近隣諸国との情勢悪化による外需の弱まりやエコカー補助金の終了等の影響により、12月の日銀短観では製造業を中心に景況感は大幅悪化を示し、内閣府も景気の基調判断をリーマン・ショック以来の「悪化」へと下方修正を行いました。政府の月例経済報告では12月の景気を「弱い動き」とし、基調判断を据え置いています。

一方、総選挙で更なる金融緩和・景気刺激策を掲げる自民党の圧勝もあり、為替は輸出産業の業績回復に対する期待感から円高是正傾向に向かい年末に１ドル＝86円台まで下落、年初には89円台までになり、輸出関連産業の業績回復に対する期待感から株価が回復しつつあります。

このような経済状況下、当社グループ外航海運業部門は前期中に竣工した船舶の稼働増により、当第３四半期連結累計期間において売上高は12,550百万円(前年同四半期比8.2%増)を計上しましたが、船舶の入渠が集中したこともあり、外航海運業利益は78百万円(前年同四半期比76.7%減)となりました。

ホテル業部門では、継続的な販促強化により集客数が増化し、当第３四半期連結累計期間において売上高は3,689百万円(前年同四半期比1.9%増)と増収となりました。また、費用の全般的な抑制、減価償却の進捗等により、ホテル業利益は378百万円(前年同四半期比51.6%増)となりました。

不動産賃貸業部門は、当社グループ所有の各ビルで空室率が若干減少傾向にあり、売上高は380百万円(前年同四半期比2.6%増)、不動産賃貸業利益は200百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は16,620百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益は657百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。営業外損益については持分法による投資利益198百万円、支払利息1,416百万円を計上するなどし、経常損失は475百万円（前年同四半期損失1,079百万円）となりました。それに第２四半期に発生した船舶売却益686百万円を特別利益に計上し、四半期純利益は100百万円（前年同四半期損失112百万円)になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より5,879百万円減少し131,485百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より5,808百万円減少し115,732百万円になりました。これは主に借入金の減少によるものです。また、純資産の部は、前連結会計年度末より71百万円減少し15,752百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月２日の「平成25年３月期　第２四半期決算短信」において公表した平成25年３月期の通期連結業績予想について、最近の業績の動向を踏まえて修正をしました。

詳細につきましては、本日平成25年１月31日公表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

当該変更に伴う当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,143,590	7,067,392
売掛金	330,718	379,488
有価証券	505,659	5,705
商品及び製品	7,804	7,238
原材料及び貯蔵品	418,299	408,886
繰延税金資産	55,438	38,177
その他	1,518,565	1,522,319
流動資産合計	9,980,076	9,429,207
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	100,265,551	96,794,241
建物及び構築物（純額）	11,289,123	10,810,949
土地	7,700,655	7,707,790
建設仮勘定	1,387,188	697,406
その他（純額）	395,024	310,706
有形固定資産合計	121,037,543	116,321,093
無形固定資産		
その他	77,142	71,514
無形固定資産合計	77,142	71,514
投資その他の資産		
投資有価証券	5,530,413	5,201,909
長期貸付金	321,591	23,971
繰延税金資産	46,536	52,854
その他	372,562	385,354
投資その他の資産合計	6,271,104	5,664,089
固定資産合計	127,385,791	122,056,697
資産合計	137,365,867	131,485,905

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	554,731	612,013
1年内償還予定の社債	1,064,000	1,179,000
短期借入金	19,676,412	22,545,605
未払金	574,030	567,104
未払法人税等	288,437	223,308
賞与引当金	19,026	29,788
その他	1,653,813	1,706,670
流動負債合計	23,830,452	26,863,489
固定負債		
社債	4,211,000	4,200,000
長期借入金	84,713,884	76,417,990
繰延税金負債	3,687,611	3,149,704
再評価に係る繰延税金負債	452,637	452,637
引当金		
退職給付引当金	180,590	196,276
役員退職慰労引当金	292,265	265,889
特別修繕引当金	986,823	835,827
引当金計	1,459,679	1,297,993
持分法適用に伴う負債	946,681	948,096
負ののれん	29,748	21,491
その他	2,209,605	2,381,510
固定負債合計	97,710,848	88,869,424
負債合計	121,541,301	115,732,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	20,618	20,618
利益剰余金	4,757,483	4,678,341
自己株式	△548,688	△548,688
株主資本合計	6,029,413	5,950,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,832	110,645
繰延ヘッジ損益	△391,473	△371,718
土地再評価差額金	391,989	391,989
為替換算調整勘定	△585,523	△642,985
その他の包括利益累計額合計	△426,175	△512,068
少数株主持分	10,221,327	10,314,789
純資産合計	15,824,565	15,752,991
負債純資産合計	137,365,867	131,485,905

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	15,587,834	16,620,849
売上原価	13,139,111	14,309,604
売上総利益	2,448,722	2,311,245
販売費及び一般管理費	1,674,729	1,653,328
営業利益	773,993	657,917
営業外収益		
受取利息	12,238	12,533
受取配当金	58,609	40,570
為替差益	－	3,080
持分法による投資利益	253,790	198,582
その他	89,284	140,947
営業外収益合計	413,922	395,714
営業外費用		
支払利息	1,394,727	1,416,380
為替差損	719,025	－
デリバティブ評価損	65,093	－
その他	88,166	113,174
営業外費用合計	2,267,013	1,529,555
経常損失（△）	△1,079,096	△475,923
特別利益		
船舶売却益	703,356	686,439
投資有価証券売却益	140,123	－
負ののれん発生益	47,645	－
特別利益合計	891,126	686,439
特別損失		
投資有価証券評価損	139,367	－
特別損失合計	139,367	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△327,338	210,515
法人税、住民税及び事業税	410,101	424,975
法人税等調整額	△281,216	△514,004
法人税等合計	128,885	△89,029
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△456,223	299,544
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△344,172	198,746
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△112,050	100,798

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△456,223	299,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280,961	△72,777
繰延ヘッジ損益	△329,673	14,584
土地再評価差額金	9,806	－
為替換算調整勘定	△243,099	△104,299
持分法適用会社に対する持分相当額	△255,626	△23,604
その他の包括利益合計	△1,099,553	△186,097
四半期包括利益	△1,555,777	113,447
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△740,487	14,906
少数株主に係る四半期包括利益	△815,289	98,541

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,597,475	3,619,517	370,840	15,587,834	―	15,587,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	11,597,475	3,619,517	370,840	15,587,834	―	15,587,834
セグメント利益	337,509	249,727	186,757	773,993	―	773,993

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ホテル業」セグメントにおいて、当社連結子会社であるぎのわん観光開発株式会社の株式を追加取得したことにより負ののれん発生益が生じています。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては47,645千円です。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,550,563	3,689,753	380,532	16,620,849	―	16,620,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	12,550,563	3,689,753	380,532	16,620,849	―	16,620,849
セグメント利益	78,668	378,541	200,707	657,917	―	657,917

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。